

抗結核薬の種類

結核の薬は、抗結核薬といわれ、結核菌を殺す作用のある薬です。

主に使用される抗結核薬は、

INH : イソニアジド(イスコチン)(ヒドラ)(イソニコチン酸ヒドラジド)

RFP : リファンピシン(リファジン)orRBT:リファブチン(ミコブティン)

PZA : ピラマイド(ピラジナミド)

S M : 硫酸ストレプトマイシン

E B : 塩酸エタンブトール(エサンブトール)(エブトール) があります。

結核の治療は、ほぼこれらのうち4剤または3剤を併用して治療を行います。

(標準治療法)

なぜ抗結核薬を4種類または3種類服用するのかというと、薬の耐性菌ができないようにするためです。

つまり複数の薬を飲むことによって、結核菌に対して耐性ができないようにしています。

耐性ができてしまうと、薬が効かなくなってしまう、結核が治らなくなるので困るのです。

INH、RFPの2つの薬が効かなくなる結核を多剤耐性結核といいます。

※この他の抗結核薬

LVFX : レボフロキサシン(クラビット)・・・(但し注射薬は公費負担適用外)

K M : 硫酸カナマイシン

T H : エチオナミド(ツベルミン)

PAS : パラアミノサリチル酸(ニッパスカルシウム)

C S : サイクロセリン

DLM : デラマニド(デルティバ)・・・(使用に制限がある)

BDQ : ベダキリン(サチュロ)・・・(使用に制限がある)

MFLX: モキシフロキサシン・・・(保険適用、公費負担適用外)

CFZ : クロファジン・・・(公費負担適用外)

LZD : リネゾリド・・・(公費負担適用外)

SPFX: ソアルフロキサシン・・・(公費負担適用外)

CPFX: シプロフロキサシン(耐性をつくりやすい)・・・(公費負担適用外)